

大阪府における中学校等の部活動の実態

部活動実態調査

調査対象（令和4年度）

- 市町村立中学校（277校）及び義務教育課程後期課程（8校）
- 市町村教育委員会（政令市を除く）

* 本調査の数値はいずれも7月1日時点で調査

* 入部者数は、2つ以上の部活に入部している生徒の延べ人数としている。

◆ 生徒加入状況 及び 部活動設置状況の推移

（1）全体（運動部+文化部）

	平成30年度	令和4年度	増減率（%）
在籍生徒数（人）	130,916	125,171	-4.4
入部生徒数（人）	109,659	102,928	-6.1
入部率（%）	83.8	82.2	-1.9
部活動設置数（部）	4,667	4,748	+1.7

大阪府における中学校等の部活動の実態

◆ 生徒加入状況 及び 部活動設置状況の推移

（2）運動部

	平成30年度	令和4年度	増減率（%）
在籍生徒数（人）	130,916	125,171	-4.4
入部生徒数（人）	84,267	77,369	-8.2
入部率（%）	64.4	61.8	-4.0
部活動設置数（部）	3,624	3,726	+2.8

（3）文化部

	平成30年度	令和4年度	増減率（%）
在籍生徒数（人）	130,916	125,171	-4.4
入部生徒数（人）	25,392	25,559	+0.7
入部率（%）	19.4	20.4	+5.2
部活動設置数（部）	1,043	1,022	-2.0

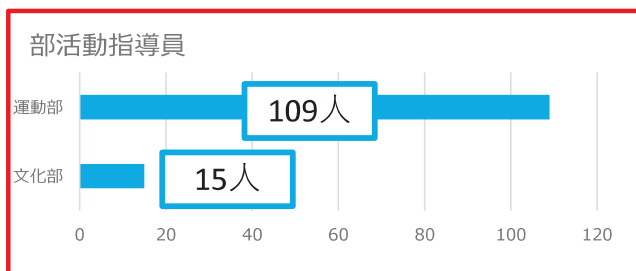
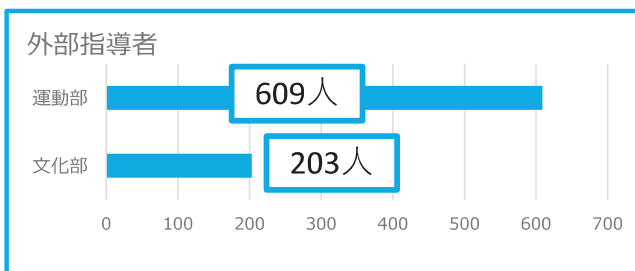
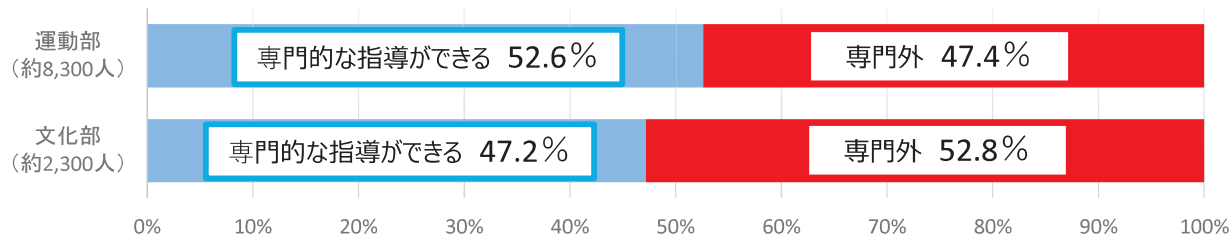
大阪府における中学校等の部活動の実態

◆ 指導者の配置状況

*「専門的な指導ができる教員」…次の条件いずれかの該当者とする。

- ・競技経験がある。
- ・長年、顧問として携わり、指導ができる。
- ・研修等を受け、専門性を培った。(独学も含む)

専門的な指導が可能な教員について



* 外部指導者は、卒業生等のボランティアも含む。大会や練習試合等への引率等を単独で行うことができない。(令和5年度より、中体連主催大会では、単独の引率・監督が可能となった)

* 部活動指導員は、校長の監督を受け、部活動の実技指導、大会・練習試合等の引率等を行う。(部活動指導員とは、学校教育法施行規則第78条の2に基づく「学校職員」)

市町村教育委員会担当者の主な意見

令和4年度「子どもの体力向上に係る」担当者会
(令和4年11月21日開催)より

● 地域移行に関する各市町村での現状や来年度の方向性等について

内容	意見
現状及び課題	<ul style="list-style-type: none"> ▪ どの市も先行き不透明な中、不安を抱えている。 ▪ 課題が山積しており、何から手をつけられるかを考えていく段階でなかなか進むことができていない。 ▪ 小さな町でスポーツ振興等を推進する部署がなく、どの部署が担当するかも決まっておらず、何も進んでいないので、今後は部署を決定し推進していく。 ▪ 運動部はイメージができていますが、文化部が悩ましい。 ▪ 3年後だけが決まっており、その途中が明確になっていないので、委員会内での役割を明確にしたい。 <p><u>〈予算及び人材確保〉</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 予算や人材等の確保に課題があり進んでいない。 ▪ 事業説明がはっきりできないため、予算をつけてもらえるか非常に厳しい状況。
今後の方向性	<p><u>〈協議会等で方向性を検討〉</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 協議会で方針を固めていく(5)。 ▪ 庁内他課との連携や、協議会の設置、移行に向けたプランや体制などのアウトラインを作成する。 ▪ 協議会の実施や、実証プログラムの実施からガイドラインの策定につなげる。 ▪ 研究の継続と今後に向けた会議体を設置する。 ▪ 将来的には学校から切り離されることからスポーツ振興課ともその辺りを踏まえた入念な検討の場を設けていく必要がある。 ▪ 行政・現場それぞれの協議会を進め、受け入れ団体の確保も踏まえ進めていく。 ▪ 指導課・学務課・スポーツ推進課で早急に実行委員会を立ち上げる。 ▪ 地域スポーツ担当課と連携して進めているところで、令和5年度の方向性も検討していきたい。

〈ニーズの把握及び精選〉

- ・まず、教員や保護者等のニーズを把握する必要がある。
- ・まずは状況把握や残す部活動の精選を進める。
- ・保護者・生徒・教員にアンケートを実施する。
- ・令和4年12月中旬より生徒・保護者・教職員にアンケートを実施し、課題やニーズの把握を行う。
- ・地理的な不利は解決しにくいものが多く、できることが何かを精選していくことが必要。
- ・市としての“形”をしっかりと決める必要がある。

〈拠点校の設置及び合同部活動の実施〉

- ・拠点校の拡充
- ・合同部活動等を全校で実施し、教職員の働き方改革にまずはつなげていきたい。
- ・令和5年度は剣道部と放送部で地域移行モデルを実施予定。

〈部活動指導員の配置等及び人材・団体確保〉

- ・まずは令和5年度から部活動指導員を配置し、方向性を模索していく。
- ・市の中に数少ない部活動を拠点校にしたうえで部活動指導員を配置し部活動を運営する。
- ・小規模で難しい面もあるが、人材が見つかれば一気に進むこともあるので、その面の環境づくりをしていく。
- ・部活動指導員の配置から地域移行に向けた人材確保を進めていく。
- ・部活動指導員の増員・検討（2）。
- ・地域移行に向けた主体となる団体の可能性を探していく。

〈その他〉

- ・他市町村の動向を見て検討する予定。
- ・近隣市町村の動向をしっかりと把握していくことが第一歩。
- ・好事例の収集。

※（ ）内の数字は同意見の数